

2020. 11. 01 「聖書預言・アップデート/ (米大統領) 選挙後」

<https://www.youtube.com/watch?v=YPD4mOKLcVs>

『選挙後』おはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝を行っています。第一礼拝は、「聖書預言」に捧げ、第二礼拝は「聖書の学び」です。神の御言葉を節ごとに学んでいきます。今日は、御心であれば、第一テモテ6章を学び終える予定です。ご参加されることをお勧めします。ハワイ時間の午前11時15分からです。本土の皆さんは冬時間が始まりましたが、ハワイには冬時間がありません。ですので、ハワイ時間の11時15分からは、第二礼拝のライブ配信です。今日は興味深いです。主にソーシャルメディア上での、神を無視したお喋りや無駄話、そして無意味な投稿の危険性についてお話しします。特に火曜日の選挙後です。実はそれが今日のアップデートで話すことです。しかしその前に、お伝えしたいことがいくつかあります。まず、助けていただきたいことがあります。具体的に言うと、この教会の建物にあるAT&T社の携帯アンテナに関して、法的な助けを必要としています。実はこの土地を入手してこの建物を購入し、その後修復した際、ある売却条件がありました。それは、AT&Tがこの建物の屋根にアンテナを設置してもよいという借地契約を尊重するというものでした。私には、本土に仲の良い友人がいます。クリスチャンではないのですが、卓越した法的知識のある非常に優秀な弁護士さんです。実は彼に、私たちが受け継いだこのAT&T社との契約書を送り、どうかしてこの契約を解除できないか尋ねました。すると彼は私にこう答えました。再度、彼はクリスチャンではありませんが、私たちはお互いに尊敬し合っています。とても親しい間柄です。彼が基本的に言ったのです。「JD、残念だけど、この契約からは絶対に逃げ出せない。」そして、こう言いました。「ただ一つだけ方法がある。」「この契約から脱け出せる唯一の方法は、教会の携挙だ。」と。(笑)ただ問題があります。それは、この契約が2025年まで解除されないということで、それまで私たちはどうすることもできないのです。しかし、私たちは契約違反があったと信じており、これらの中継塔をこの建物から撤去したいと思っています。理由は多数ありますが、その一つは屋根が水漏れを起こしていることです。私たちが懸念しているのは、その箇所のカビ、そしてアンテナが設置されているところから水漏れしているということです。私は、木曜日の夜にこのこととお話しして、多くの方が連絡をくださり、大変感謝しています。しかし今日は、このお願いについて、もう少し明確にお伝えする必要があります。それは、とっくに話し合いをするという段階を超えているということです。私は、AT&T社と何年話をしてきました。5年間です。しかし彼らは返答してくれません。実は、今年の初めにようやくAT&T社の上層部の方と連絡がつき、ようやくこれで彼らから返答をもらえると思ったのですが、案の定、彼は電話に出なくなりました。ですから、これが私のお願いです。こう言わせてください。私は58歳ですが、今まで一度も訴えられたことも、誰かを訴えたこともありません。それは私たちの意図ではありません。そうするつもりはありません。私たちが望むのは、どなたかからの助けです。できればAT&T社の上層部におられ、私たちを助けて頂ける方、もしくは弁護士の方で、私たちがこの契約を解除し、アンテナを他の場所へ移動できるよう助けて頂ける方です。アンテナを建物の上に戻したくありません。そしてもうひとつ心配事があります。少し気が引けますが、しかし、もし主の来臨が遅れるなら、5Gのアンテナは設置して欲しくありません。ところで、今はそうではありません。何人かの方は、「あーよかったです！」と言う感じですね。今日ここを去られる際、「5Gだったんですか?!」とならないように、5Gではありません。ご安心ください。しかし、私たちは本当に助けが必要です。特にオンライン教会にこのお願いをしています。使徒パウロのようにです。彼は、ローマ市民としての法的権利を行使しました。私たちにも権利があります。しかしこの契約は、AT&Tに全ての権利を与え、私たち土地の持ち主は一つの権利も与えられていません。だから私たちは法的権利を行使し、主がこの祈りに答えてくださるのを本当に信じています。これは長年に渡る祈りです。もし助けてくだされるなら、、、画面を戻して、メールアドレスを表示してもらえますか?office@calvarychapelkaneohe.comへご連絡ください

い。その後契約内容を送りますので、法的な観点から助けてくださるかどうかをお知らせください。そしてどうかお祈りください。この件に関しての皆さんのお祈りに大変感謝します。主を信じましょう。奇跡が必要です。または携挙。携挙でも構いません。しかしもし携挙がまだ起こらないなら、これらをこの建物から撤去するには奇跡が必要です。最後に手早くお伝えしたいのは、私たちの新ウェブサイトが稼働しているということです。私たちは本当に興奮しています。JDFarag.orgです。ぜひご覧になって下さい。ウェブ上にはフォーラムがあります。既に何百何千もの方が閲覧し、ニュースと関連した聖書預言などについて、議論が繰り広げられていると聞いています。これはまだ、第一段階です。どうか私たちのために引き続きお祈りください。皆さんのご忍耐に、大変感謝します。では、どうもありがとうございました。さて、本題に取り組みましょう。私がお話したいのは、恐らく皆さんも耳にされたと思いますが、火曜日の夜に大選挙が行われます。ご存知ですね。私が共有したいのは、今週火曜日の大統領選後に起こりうる幾つかの重大な懸念についてです。いわゆる専門家によって多数の予測がされていることは、皆さんも同意なさると思います。彼らはこの先に暗く悲惨な日々を見ています。選挙の前でさえ、既に起こっていることを見れば、これらの予測が実現するかもしれないと認識できることは言うまでもありません。月曜日、ゼロヘッジ社は最も興味深い記事を出版しました。※右派の金融ブログサイト、そして、彼らはこのような質問を投げかけています。「我々は選挙後に、史上最悪の国民感情の崩壊を目の当たりにすることになるのか？」引用します。「今、我々は嵐の前の静けさの中にいる。バイデン支持者の多くは、トランプの勝利は文字通り、我が国に起こり得る最悪の事態になると信じている。しかし、現時点では大半の人々は、バイデン勝利を確信している。同様にトランプ支持者の多くは、もしバイデンが勝てば、我々は恐ろしい社会主義という奈落の底に落ちると硬く信じている。しかし彼らも、今のところ世論調査は間違いで、トランプが11月に新たな勝利を収めると確信している。選挙日まで1週間余りを残し、（再度、これは先週の月曜日の記事です）政治に深い関心のあるアメリカ人の多くは、好結果が目前だと信じているので平和的だ。しかし、それもすぐ変わる。何千万人ものアメリカ人が一斉に、我々の目の前で正気を失うだろう。私が思うに、国家的な痼癩が起ころうとしていることは、誰もが認識していることだろう。ただ、政治に深く関心を持っている人の大半が、それは相手に起こることだと思い込んでいる。ワシントン・ポスト紙もまた、この選挙が国家に何をもちたらずかについて深く懸念している。彼らが出版したばかりの長文記事の中で、双方ともが、“間違った結果が災いをもたらす”と確信しているという事実について論じている。アメリカ人が今後の道を選ぶ1週間前、四年に一度の十字路は、絶望の悪臭を放っている。ほぼ全歴代の政治家は、特定の選挙を彼らの時代において最も重要だと提起するが、2020年の投票は、国家が歴史的に見て暗い状況の中で行われる。つまり希望が薄く、（お聞きください）霊的に空っぽで、間違った結果が災いをもたらすという確信の中、行われるのだ。「私はこのようなものを見たことがない。」と、共和党政治コンサルタント、フランク・ランツ氏は言う。彼は過去7回の大統領選で（誰に投票するか）、決心できていない投票者の世論調査を行ってきた。『最も公平な考えの人でさえ、その大半の人がこの選挙に関しては私が今まで耳にしてきた何よりも語気の強い、破壊的な言葉で表現している。』2016年も、間違いなく感情が高ぶっていたが、これほどのものを、我々はかつて見たことがない。ほとんどの民主党員が、トランプと彼の支持者は、深く悪であると信じている。同様に、ほとんどの共和党員は、バイデンと彼の支持者は深く悪であると信じている。そしてもちろん、彼ら全員が深い悪だと強く確信している人も多く存在する。国家がこれほどまでに深く分裂している中で、果たして誰が我々を結束させることができるだろうか？“分裂した家は必ず倒れる”と言われてきたが、まさに現在、我々の分断によって国家は崩壊の危機に瀕している。」引用終了。何ですって？「言われてきた」ですって？「すみませんが、誰がそう仰ったかご存知ですか？」救い主がそう仰いました。あなたは、私のイエスのことを言っているのです。「”分裂している家は...”」と言われた」とは、一体どういう意味ですか？それはイエス自身によって語られました。マタイの福音書12章25節にあります。興味深いのはこの出来事が、（お聞きください）イ

イエスが、”サタンをサタンによって追い出している”と非難された後に来るということです。イエスはこんな風に、「本気ですか？」まあ、そう仰られた訳ではありませんが、それが意味されることです。「冗談でしょう？」と。私たちに語られているのは、イエスは彼らの考えを見抜いておられたということです。そして彼らにこう仰ったのです。

「どんな国でも内輪で争えば、荒れ果ててしまい、どんな町でも家でも、内輪で争えば成り立って行かない。」 (マタイ 12:25)

それがイエスの仰ったことです。「わかりました。牧師先生、要点は何ですか？」あるいは「話されることに要点はあるのですか？」と思われているかもしれません。もちろんあります。今からお話します。私はこう思います。自分自身に問いかけることが大変適切であると。それは、「もしも」という質問です敬意を持って言います。「合衆」国というよりも「分裂」国という方がふさわしい、崩壊の危機に瀕しているこの国にとって...もし、イエスの仰ったことが真実なら...そしてそれは間違いなく真実ですが、こう言えるのではないのでしょうか？これほどまでに分裂されているこの国家の崩壊は、時間の問題であると。何人かの方がお考えであろうことは分かります。私は皆さんの心を読むことができるので。私に読ませてください。初めてではなく、また最後でもないと思いますが、私は、非愛国的な運命主義者であると非難されるでしょう。私がこのように話すとき。このように話すのは、これが初めてでもありません。ところで補足させていただきたいのですが、私はこの国を愛しています。そして、このように言うことを誤解して欲しくありませんが、私は大半の国よりもこの国を愛しています。なぜなら母と父は、私が9ヶ月のとき、この偉大な国に合法的に移住したからです。1963年のことです。彼らは中東とイスラム教弾圧から逃れ、この偉大な自由の国にやってきました。そして5年間、正式にアメリカ市民となる日を目指して勉強と準備に費やしました。当時私はまだ小さかったのですが、決して忘れません昨日のことのようです。私は、母と父と一緒にそこに立ち、彼らの頬に涙が流れ落ちていました。市民宣誓式です。彼らは、アメリカ合衆国の国旗に忠誠を誓いました。

『万民のための自由と正義を備えた、神の下の、”分断すべからざる”一国家』にです。そして、彼らはその日に市民権を取得しました。本当に...時々考えます。もし、私の両親がこの偉大な国に来ていなかったら、私は救われていることはおろか、今も生きていただろうかと。私は、この国を愛しています。しかしここで、皆さんに大変気まずいながらも心を開くことができるなら、私が答えなければならぬ質問は、ペテロが答えなければならなかった質問です。イエスはペテロに質問されました。「あなたはそれを私よりも愛しているのか？」(ヨハネ 21:15-17 参照)

「ペテロ、あなたはこれらを私よりも愛しているのか？」「私は、あなたがこの国を愛していることを知っている。あなたはこの国を私よりも愛しているのか？」これが難しい事柄であることは理解しています。しかし、言わざるを得ません。私は今日のために、今週のほとんどを祈りと断食をして過ごしました。それは、今日話すことが難しいものになると知っていたからです。しかし、この「もしも」という質問の答え方によって、主への幻滅度合いを推し量ることができると言わせていただきます。お許しいただけるなら、なぜ私がそう言うのか、説明したいと思います。何かが思うようにいかない時や、私たちが期待した通り、あるいは祈っていた通りにならない時、幻滅と失望が常に付きまといまいます。更に踏み込んで言わせて頂くと、その失望や幻滅はよく、神に向けられます。主と共に歩み、主のために生き、主に希望を抱く者には起りえないことだと思わないでください。エリヤを考えてみてください。その記述は、列王記上 18章と 19章にあります。これは私にとって間違いなく、聖書頁に記録されている中で最も驚くべき節の一つです。理由はこうです。雨が降らないように、そして火が降るようにと祈っていたエリヤは、今やどん底にいます。そして、理解に苦しむのは、これは、あのエリヤだということです。バアルの預言者 450人を殺したエリヤです。今、エリヤは死に物狂いで逃げています。彼に対して殺害命令が出ているからです。そして彼は、えにしだの木の下で、神に自分の命を取ってくださいと祈っています。何ですって？偉大なる預言者エリヤに、一体何が起こったのでしょうか。今まで神に、驚くほど、そして力強く用いられていたのは誰だったのでしょうか。

う。答えはこうです。エリヤは、私たちの多くがそうであるように、物事が自分の望んでいたように行かないとき、言い表せないほど落胆し、幻滅しました。それがまさにエリヤに起こったことです。彼は何を望んでいたのでしょうか。彼は何を祈っていたのでしょうか。列王記上 18 章～19 章の 2 章を再見されることをお勧めします。彼が何を望んでいたかご存知ですか？ これは皆さんを躓かせるでしょう。あるいは若い人には『ハードドライブを故障させる』と言った方がいいのでしょうか。しかし彼は、イスラエルを再び偉大にすることを望んでいました。彼は、イスラエル国家の悔い改めと、イスラエル国家の復活を望んでいました。しかしそれは起こりませんでした。更に最悪なことに、それでも十分ではないとでも言うように、彼はアハブの失脚を望んだのです。イスラエル国家史上最も邪悪な王です。そして、彼の愛しの妻、イゼベルに関しては… 皆さんこの女性について聞いたことがありますか？ エリヤは、彼らが、彼女を拘束することを望んでいました。「牧師先生、ちょっと行き過ぎです。」私は気にしません。何とでも言ってきてください。ここにエリヤがいます。お聞きください。遮らず最後までお聞きください。彼は、天から火を降らせ、生け贄を焼き尽くします。これはバアルの預言者たちが、叫び、身を傷つけ、血流すまでに至った後です。しかし、彼らの神であるバアルからは、何の反応もありません。バアルは、全く神ではないからです。そして、エリヤはこの状況を楽しんでいます。「どうぞどうぞ、これは競争なんだから。」「スーパーチューズデーだ。」(大統領予備選で勝負日と言われる日)そして彼は、競争に勝利しました。ご存知ない方のためにネタバレです。彼は勝ちました。何の競争だったのでしょうか？ 偽りの神バアルと、真の生ける神との対戦でした。面白いのは、エリヤは、アハブ王のところへ行き、彼にこう言うのです。「あなたの預言者たちを集めてください。競争しましょう。これで決着させましょう。」「生贄を持ってきて祭壇を建て、それに水をかけましょう。」「あなたがたが先に始めて構いません。あなたの神に火を降らせてもらうように頼み、生贄を焼き尽くすのです。」実はこれは興味深いです。火のことについては後でお話ししますが、なぜなら、バアル神は、地、風、火の神として知られていたからです。思い出される方もいるかもしれませんが、これはつまり..思い出されている方がいますね。実は私もです。なぜかは分かりませんが。ある(音楽)グループがいます。これと同じ名前(Earth, Wind & Fire)です。とても悪魔的です。とにかく、これが彼らの神でした。地、風、火の神です。それは後で話しますが、皆さん私が話そうとしていることはお判りですね。当然ながらアハブはこれを聞いた時、こんな感じです。「何だって？ 待てよ。では我々は対戦し、天から火を降らせるのか？ 本気か？ 本当にいいんだな？ 我々の神は火の神だぞ。」「それは楽しみなことになりそうだ！」

エリヤは、「どうぞどうぞ。」という感じです。そこで、彼らは一日中呼び求め、叫び続け、エリヤは彼らをいじります。「もっと大声で叫ばなければ、聞こえないのではないか？」これは彼らを激怒させます。そして彼らはより大きな声で叫び求め、彼はこう言うのです。「あれ、おかしいですね。もしかしたら、あなた方の神は休暇中なのかもしれない。」そしてこれは究極です。真実です。再度言いますが、ご自分で聖書を読んで頂ければ分かります。非常に聖化されていて、限られた翻訳でのみ書かれています。しかし、彼は実際に彼らにこう言うのです。「たぶんあなたの神は、トイレにいてるのでは？」本当です！ いいですよ。そんな風に私に笑ってくださって。しかし彼は、本当に彼らにそう言うのです。それは彼らをさらに激怒させます。そしてついに彼はこう言います。「どいてくれ。」「そこにもっと水をかけなさい。」「もっと水をかけ続けなさい。」そこで彼らは水をそこに注ぎ続けます。そしてエリヤは、たった一度だけ、真の生ける神を呼び求めます。

すると火が降り、焼き尽くす献げ物だけではなく、全てをなめ尽くしました。(列王記上 18 : 38 参照)

祭壇も全てです。正に決定的です。これを見た彼らはひれ伏し、「主こそ神です。主こそ神です。」と言いました。(列王記上 18 : 39) そうなるでしょうね。そこに偽りはありません。私でもひれ伏すでしょう。この時点で、エリヤはバアルの預言者たちを殺害します。その後、その話がイゼベルに届きます。

「イゼベルは、エリヤに使者を送ってこう言わせた。『明日のこの時刻までに、あなたが私の預言者にしたのと同じことがあなたに行われるでしょう。』（列王記上 19：2 参照）

エリヤが、こう答えると誰もが思うでしょう。「ああそうですか。分かりました。それはどうでしょうね。」「神よ、彼女が今言ったことを聞かれましたか？」沈黙。「神よ！ご覧になりました…か？」一見、神は何もされていないように見えます。だからこそエリヤは逃げ出し、洞窟に隠れたのだと私は思います。彼が逃げ出した理由は、事が彼の思い通りに進まなかったからです。なぜなら彼はこう思っていたからです。必ず神はアハブとイゼベルを殺められると。しかし、神はそうなさいませんでした。なぜでしょうか？それは、神の道と神のお考えは、私たちの道や考えとは違うからです。遥かに超越しておられます。ずっとより良いものです。そしてあえて言うと、遥かに偉大です。私はこう信じます。だからこそ、神はエリヤに、彼が思っていた方法では話しかけなかったのだと。エリヤが隠れていた洞窟で、神が彼の前に現われたときです。その話をご存知ですね？列王記上 19 章です。再度、他に良い表現が見つかりませんが、聖書の中で、おそらく最も驚くべき節の一つです。ここで何が起るのというのと、まず、非常に大きな地震です。地滑り、岩崩れも起きます。巨大地震です。しかし、地震の中に主はおられませんでした。（列王記上 19：11）そして、激しい風が吹きます。ただの風ではありません。台風並みの風です。しかし、風の中にも主はおられませんでした。（列王記上 19：11）その後、火が起きます。多くの人はこう思うでしょう。神は必ず火を通してエリヤに話しかけられるだろうと。結局のところ、エリヤは火に夢中なのですから。そうは書かれていませんので、これは私の憶測ですがもしかしたら、エリヤは放火魔だったのではと思います。火が大好きだったのでは？と。そう思いませんか？「神は必ず火を通して、彼に話しかけられるだろう。」しかし違います。神は火の中におられません。そのかわりに、神は、エリヤが思っても見なかった方法で彼に話しかけます。なぜなら、神の方法は、エリヤの方法ではないからです。神の道は、わたしたちの道とは違います。神はエリヤに、静かで穏やかな、洗練された声で、囁くように話しかけます。そしてそれが、彼の注意を引きました。神は、エリヤに質問をされます。エリヤがバアルの預言者たちを殺した直後、彼に尋ねたのと同じ質問です。そして、答えはその時と全く同じです。神はこう尋ねられました。「エリヤよ、ここで何をしているのか。」（列王記上 19：9）彼が何をしているのか 神が、ご存知なかったわけではありません。もちろん、神は、彼がそこで何をしているのか ご存知でした。皆さん、彼がそこで 何をしていたか知っていますか？ エリヤは、自分を哀れむ会を開いていたのです。しかし、誰も一緒にいてくれませんでした。誰も現れませんでした。彼は自分が可哀想だと思っていました。なぜ彼は、自分を可哀想に思ったのでしょうか？その理由は、彼は、神が彼に期待されたことを行いましたが、神は、エリヤが神に期待したことを なさらなかったように思えたからです。彼は、神がアハブとイゼベルを何とかなさることを 完全に期待しましたが、神はそうなさいませんでした。彼の問題は、アハブとイゼベルではなく、神にあったのです。ここで更なる質問があります。そして、それが順当だと思います。その質問とは、私たちは、何を期待しているのかということです。神に何を期待しているのでしょうか？これは事実ではないのでしょうか？神が何をしてくださるのか、いつしてくださるのか、さらには神様がどのようにすべきかという期待を持つ時、それはいつも幻滅と失望に終わると。エリヤが幻滅と絶望の中で知るよしもなかったのは、神が、彼を天に携挙なさろうとしていたことです。火の戦車によってです。ちなみに、これがさっき言った火のことで。列王記下 2 章 11 節。ご辛抱ください。これで話が繋がります。「彼らが話しながら歩いていると、…」彼らとは、エリヤとエリシャです。神がエリヤに、彼に代わる預言者にするため 油を注ぐようと仰ったエリシャです。彼らは歩きながら話していて、エリシャはちょうど、エリヤにこう頼んだところでした。

「あなたの霊の二つの分を わたしに受け継がせてください。」と。（列王記下 2：9）

エリヤはこれに対しこう答えます。

「わたしがあなたのもとから取り去られるのをあなたが見れば、願いはかなえられる。もし見なければ、願いはかなえられない。」（列王記下 2:10）

このことから分かるのは、神が既に、エリヤを連れて行くつもりだと、明らかにされていたということです。ところで、彼は死を経験しませんでした。「エリヤが洞窟に隠れていた時に、 どうしてそう仰られなかったのですか？」「ああ、エリヤ、神がなさろうとしていることを あなたが知っていれば...」「彼らが話しながら歩き続けていると、 見よ、（突然）...」ところで、私は“突然”という言葉が好きです。「...火の戦車が火の馬に引かれて現われ、...」更なる火です。戦車だけでなく、馬自身も火です。至る所火だらけです！ 二人の間を分けた。 エリヤは嵐の中を天に上って行った。」

（列王記下 2:11）そして、それ以上に素晴らしいのが、 これはエリヤの最後ではありません。彼がどこで現れるかご存知ですか？ ご存知ですね？ 彼はモーセと一緒にです。モーセです！ なんとかっこいいのでしょうか。彼らは、私たちが愛情を持って“変容の山”と呼ぶ場所で、 イエスと一緒に現れて話します。マタイの福音書 17章 1～8節。私について来て下さい。一緒にこの箇所を読まれることをお勧めします。1～8節を読みたいと思います。理由はすぐにわかると思います。

マタイの福音書 17章

1 六日の後、イエスは、ペトロ、それにヤコブと その兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登られた。

2 イエスの姿が彼らの目の前で変わり、 顔は太陽のように輝き、服は光のように白くなった。

3 見ると、モーセとエリヤが現れ、 イエスと語り合っていた。

[4節]「ペテロが口をはさんで…」 私はペテロが大好きです。彼に会うのが待ちきれません。天国では、多くの方が、 ペテロに謝らなければならないと思います。

4 それからペテロは答え、イエスに言いました。『主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。（この言葉を覚えておいてください。） お望みでしたら、わたしがここに仮小屋を三つ建てましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、 もう一つはエリヤの為です。』

5 ペテロがこう話しているうちに、 光り輝く雲が彼らを覆った。すると、（突然）一ここで再びこの言葉です。この言葉が好きです—『これはわたしの愛する子、わたしの心に適う者。これに聞け』 という声が雲の中から聞こえた。

6 弟子たちはこれを聞いてひれ伏し、非常に恐れた。

7 しかし、「イエスは近づき、彼らに手を触れて言われた。『起きなさい。恐れることはない。』」

さて皆さん、8節に注目してください。

8 「彼らが顔を上げて見ると、 イエスのほかにはだれもいなかった。」

これが私のお話したいことです。これがどの道に転ぼうと、上を見上げるのです。恐れてはいけません。目を上げて、イエスだけを見てください。私たちの信仰は、恐らく、これまでにないほどに、試されているのではないのでしょうか？ 間違いありません。しかし、神の道は、かつてないほどに信頼できます。主を求め、今日のアップデートの準備をしていたとき、私は御座に請願し、主に尋ね求めました。主は私の心をご存知です。第二礼拝で、このことについてもっと話すつもりです。しかし私は、ソーシャルメディア上で 起こっていることを目にしています。今からある名前を挙げます。その時皆さんは、以下のことに しっかりと注意を向けてみてください。その名前を聞いた時に起こる感情と、心に思い浮かべることです。ハンター・バイデン。イエスは、ハンター・バイデンを愛しておられます。イエスは、ハンター・バイデンのために死なれました。どなたか、彼のために祈っておられますか？ 彼は敵ではありません。彼の父親であるジョー・バイデン。彼も敵ではありません。彼にはイエスが必要です。彼は、イエスが必要なのです。質問があります。これは私のメモにはありませんが、尋ねさせていただきます。恐らく聖霊が促されているのだと思います。繰り返しますが、第二礼拝でそれについてもっと話します。しかし、私は皆さんに質問があります。あなたは、ソーシャルメディア上で、誰かをイエスのもとに連れてくる ご自分の能力を台無しにしていきましたか？ どうでしょうか... 私はある記事を読んでいたのですが、 とても興味深かったのは、若い世代は... この政治

的に分裂した状況のせいで、私たちは若い世代を失ってしまったのでしょうか？ 私たちはクリスチャンとして、一人の人間に味方してきました。私の率直さをお許しいただきたいのですが、しかし、クリスチャンが、トランプ氏のために 言い訳をし続けると、大きな過ちを犯すことになります。議論に勝つことはできるかもしれませんが、しかし、あなたは、誰かをイエスに近づける機会を失いました。時々思います… ちょうど先週、娘に話していたことですが、クリスチャンではない人の方が、時折クリスチャンよりも愛情深いのです。他人への接し方においてです。これが全て終わったら、本当に大事なものはイエスだけです。イエスだけです。時代を超えて歌われる、昔の古い賛美歌にあるように、「あなたがこの世界を手に入れても構いません。私にはイエスをください。」別の質問をしてもよいですか？ 再度、私のメモにはありませんが、聖霊からそれを尋ねるように促されている気がします。これは、私も自分自身に尋ねる質問です。私は携挙はいつでも起こりえると信じています。そして、私はそれをとて楽しみにしています。私の希望です。私の唯一の希望です。皆さんの唯一の希望でもあります。しかし、皆さん、その意味合いをご存知ですか？ もし誰かが、神の御霊によって生まれ変わっておらず、イエス・キリストを自分たちの主であり救い主として 知らなければ、彼らは、取り残されてしまうのです。そして、言い表せない恐怖に直面することになります。言い表せない恐怖です。彼らにはイエスが必要です。最後に一つ、どうか私の心を聞いてください。もし、今朝ここにエリヤがいたとすれば、まず第一に、それはどんなに素敵なことでしょうか。今日はゲストスピーカーがいます。「本当ですか？誰？」「エリヤです。」「まさか！」「そのまさかです！」エリヤに、ここに来てもらえるとしましょう。そして、私たちと共に過ごしてもらえるとしましょう。彼は何と言うのでしょうか？ 彼は、こんなことを言うと思います。

「あなたがたが、アメリカを 再び偉大にしたいことは知っています。私は、イスラエルを再び偉大にしたいと思っていました。しかし、神は、別のご計画があらわれました。神には、別の方法があらわれました。それは、遥かに超越していました。神は私を、本当の家ではないこの世界から、天国に連れて行くことを望まれたのです。もう一つ、時代を超えた昔の古い賛美歌を 思い出します。「イエスに目を向け、彼の素晴らしい御顔をしっかりと見つめよ。すると地球上のものは不思議と霞んでいく。彼の栄光と恵みの中へと。」エリヤはこう言うでしょう。ペテロのように、実際、エリヤはこう思ったのか気になります。「ああペテロ、あなたは私と同じことをしている。」と。「あなたはそれがここにあることを望みました。」「あなたはここに幕屋を置くことを望みますが、それはここにはありません。それは上にあるのです。」「ああ、それは素晴らしいことです。ここにそれがあれば、とても素晴らしいことです。」違います、ペテロ！ 違うのです、エリヤ！！ここではありません。それは上にあるのです。私は一度ある発言をしました。そのことについて 詳しく説明するように頼まれました。そして私は、苦心の思いでそれに答えました。なぜなら私は、天国を再び偉大にしたいからです。ああ、そんな風に反応してくださりありがとうございます。実を言うと、私が望んでいたより少しマシでした。どういう意味でしょうか。ここは私たちの家ではありません。ここは私たちの家ではないのです。どうぞご自由にお使いください。私たちがいなくなった後です。あなたは私たちがいなくなるまでは、ダメです。早まらないでください。しかし私たちがいなくなった後は、どうぞご自由に。好きにしてください。ちなみに、言っておきますが、それができるのは7年間だけです。そして酷い状況になるでしょう。何が興味深いかというと、この選挙の後、多数の人がエリヤのようになるでしょう。不必要に幻滅し、この地球上で事態を好転させたいと願う人たちは。しかし、神は、私たちの中にいるエリヤを 好転させようとされています。そして代わりに、天国に連れて行ってくださるのです。もう”最後に” と言いましたが、これが本当に最後です。水曜日は、火曜日の後に来ます。大変意味深ですね。主から、主の御言葉から、私は皆さんを励ましたいのです。神がすべてをご支配し、すべてを覆されます。そして、神が”最後の言葉”（決定権）を握っておられます。私は、危険な時代が来ることを示唆しているのでしょうか？ いいえ。違います。危険な時代は、既にここにあります。ずっと前からです。そしてさらに悪化するでしょう。それが、私の聖書が教えている事です。そして、そ

れは良いことであり、神的なことです。なぜなら、恐らくそれが11月4日（水）に、クリスチャンに必要なことだからです。彼らがようやくこう認識するためです。「もう沢山だ。」と。ああ、ようやく気づきましたか。ようやく気づきましたね。「私は、エリヤのように、あなたを連れて行きたいのです。」「わかっています。でも、アハブが、イゼベルが、トランプが、バイデンが、ヒラリーが…」続けましょうか？何人かの方は、「止めてください！」と仰ってます。心配してはいけません。毎週、特に火曜日に至るまで、心からお願いし、示そうとしている自分に気づきます。私たちがイエスだけを見るようにです。だからこそ、私たちはこれらのアップデートを行っています。だからこそ、私たちは福音/救いの良い知らせと、イエス・キリストの人となりで締めくくるのです。福音は、第一コリント15章の中で、使徒パウロによってこう語られています。「イエスが来られ、十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられた。」そして、パウロの最初の書簡、テサロニケ人への手紙で語っているのが、福音とは、イエス・キリストが十字架につけられ、葬られ、3日目によみがえられ、そしていつか私たちを携挙するために戻ってこられる事です。彼がエリヤにされたのと同じようにです。それが、良い知らせ/福音です。それが「救いのABC」で締めくくる理由です。子供にでもわかる、簡単な方法であって、唯一の方法なのではありません。福音を誰かと分かち合うための簡単な方法なのです。そして、皆さんも同意されると思います。私たちはかつて見たこともなく、また、もう二度と見る事が出来ないほど、毎日誰かをイエスに近づけるための、またとない機会のある時代に生きているのです。まだ時間がある内にです。ここ数ヶ月間、私たちは大きな励ましとなる証を共有しています。世界中のオンラインメンバーから送っていただいています。今日は3つの証を共有したいと思います。皆さんを励ますために共有したいものが他にもたくさんあり、選ぶのが大変でした。「こんばんはJD牧師、私はプレトリア、南アフリカから書いています。2020年10月15日の夕方、夫と私は、10月4日の「預言アップ/しかし神は。」を聞いていました。友人から転送されてきたのです。車で1時間ほどのプレトリア郊外に物資収集に行く時間が、これを最後まで聞くのに十分な時間を与えてくれました。」最近では預言アップを聞き終えるには、1時間以上必要ですが。

とにかく、「帰り道、アメリカ国内の“ABC of Salvation”ビルボードについての映像を見ました。このビルボード写真の映像が出た瞬間、私たちの車のライトが、道路脇の空いているビルボードを照らしました。そこにはこう記載されていました。『ここに広告を載せましょう。』そして、広告社の連絡先がありました。そして、神が、まさにこのビルボードに「救いのABC」を記載するよう仰っているとすぐに分かりました。次の日、私は連絡先電話番号を取得するためにその場所まで戻り、計画し始めました。また、あなたはこう仰っていましたね。愛という言葉（イエスがあなたを愛している）は弱くなり、”イエスがあなたを大好きだ”と言う方が良いと。」悲しいことですね。「そして今週末、2020年10月24日、”救いのABC”のメッセージが、ここプレトリア、南アフリカで掲げられました。主を褒め称えます。一拍手ービルボードの一番上に気づきましたか？オンラインのために画面を戻してくれますか？Jesus Loves You/イエスがあなたを愛しています、の代わりにJesus Likes You/イエスがあなたを好きですと書いてあります。興味深いですね。皆さんが誰かに「イエスはあなたを愛しています。」と言うと、「はいはい、そうですか。」となりますが、「イエスはあなたを好きなのです。」と言うと、「えっ そうなの??」となります。「私たちは、このABCメッセージビルボードで、さらに何をすべきかを神が示してくださり、多くの人が見て、心が動かされることを信じています。イエスはあなたを好きです。私が彼らのお名前を正しく発音していますように。もしそうでなければ、お許しください。アフリカ、プレトリア・サウスから、ソニエとトニー・ヴァン・ニーカークより。」2つ目です。写真を出してくれますか？私はこのビルボードについて、指摘したいことが2つあります。ハワイでは決して見る事のないものが2つあります。一つはビルボードです。ハワイにはビルボードはありません。オンラインの方々をご存知かどうかは分かりませんが。2つ目は雪です。あの雪を見てください。寒そうですね？それは実際寒いからです。「JD牧師へ。私の家族を代表して、主に忠実に奉仕して下さることに感謝申し上げます。完成するのに1年以上もか

かった、あるお話を共有したいと思います。2019年の初め、叔母のキャシーは、マサチューセッツ州へ生涯の友人を訪ねに行きました。その訪問中に、この友人が叔母にあなたのミニストリーを共有しました。叔母は旅行から戻り、あなたの教えを聞き始めました。彼女は徐々に、私を含めた家族と「預言アップ」を共有するようになりました。しかし、私たちは誰も、あまり興味を示しませんでした。言及すべきなのは、私たち全員がクリスチャンだと公言していたことです。そして、COVIDが起きました。叔母は昔から、患難前携挙信者ですが、世界がその通り向かっているのを見て、圧倒されました。私の叔母は、愛する人たちが本当に救われており、神の前に正しくされているのか知る必要があると感じ、悩んでいました。叔母はあなたの預言アップを聞いていたので、終わりの日に関し、私たちの誰も彼女ほど興奮していなかったことへの叔母の落胆が想像できると思います。COVIDが観光産業に影響を与えているため... (私たちはここでそれを痛感しています) 私は数ヶ月間失業していました。その時間を利用して、いくつかの「陰謀論」を調べて見ました。私は多くのことを学びましたが、叔母は私が何を学んでいるのか特に興味はないようでした。彼女は「最後の日」について話し続けました。だから、彼女が間違っていることを証明するために、私はあなたのアップデートの聞き始めました。私の知っている幾つかの陰謀論が、あなたのリサーチの中で取り上げられるとは想像もしていませんでした。私たちが最後の時を生きていることを示す陰謀論です。特に、世界統一政府と、それが黙示録にどのように関連しているのかについてです。だから今や、私は夢中になりました。私は陰謀論を調べるのをやめ、この先の預言を理解することに焦点を当て始めました。最終的に父も参加するようになり、今私たち3人で、毎週あなたのアップデートを見えています。叔母の心は励まされました。私たちが学んでいることを、兄とその妻にも共有しようとしたのですが、彼らは普段は私たちを遮り、別のことを話し出していました。しかし彼らに、ウイルスが発生する前に世界に出荷された、検査キットについてのアップデートを見せました。彼らは今、毎週預言アップを聞いています。彼らは、彼らの7歳の子供が救われるように祈り、(お聞きください) 実際に救いのABCを使っています。」ハレルヤ！一拍手「そしてJD牧師、私たちはビルボードに関する最新情報を聞きました。サウスダコタ州ウォータータウンには今、救いのABCのビルボードがあります。」それがこれですね、両面に載っています。そうです。ところで、これは私のせいではありません。私が始めたものではありません。フロリダのシプリングの兄弟から全て始まったのです。皆さんにお伝えしておきます。彼女は続けています。「主を褒め称えます。兄と彼の妻がそれを最初に提案し、みんなで協力しました。2020年12月まで設置予定です。今年は本当につらい年でしたが、(はい、そうですね) 私たちはあなたのミニストリーが与えてくれた楽しみ、学びを分かち合うことで一つとなり、私たちの信仰と決意は、聖書が実際に最後の日について語っている教えによって強められました。聖霊とあなたの教えを通して、私たちは聖書の語ることを理解したのです。そして、それが2020年の今起きている事と、どのように関連しているかを。また、これまで以上に他の人に信仰を分かち合う力を与えてくれました。」そうです。主よ、ありがとうございます。「私たちは今でも大抵の場合、“いつになればイエス様が来るのか?”と嘲られています。しかし、あなたが教えられたように、それもまた、終わりの時の預言通りであることの印です。ありがとうございます、JD、祝福を！アシュリー・クヌードソン マラナタ。」最後の1つです。これはエリザベス・サンチェスさんです。「ファラグ牧師にご挨拶します。私は数年前からあなたの預言アップを見えています。私はインディアナ州の比較的小さな都市に住んでいます。再度、私が正しく発音することを願っています。テレ・ハウト (T-e-r-r-e H-a-u-t-e)? テレホート。どうもありがとうございました。... ごめんなさい、テレ・ホート。テレホート、インディアナ州。そして、私は広告掲載の流れに乗るように、導かれている気がしました。私は、幾つかのベンチから始めました。こちらは、この地域にある2つのウォルマートのうちの一つで、外に設置されています。おそらく限られた予算の方も、同じようにできるのではないのでしょうか。すべてのあなたの働きを本当に感謝しています。マラナタ。」主を褒め称えます。一拍手「救いのABC」

とは何でしょうか？ A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また 自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。ローマ人への手紙 3 章 10 節に、

「正しい者はいない。一人もいない。」（ローマ 3：10）

あなたは良い人かもしれませんが、完璧な良い人には決してなれません。完璧な人はお一人だけです。

イエスです。

「人は皆（私たちの誰しもが）、罪を犯して 神の栄光を受けられなくなっていますが、」（ローマ 3：23）

ローマ人への手紙 6 章 23 節、「罪支払う報酬は死です。…」（ローマ 6：23a）

それは死刑宣告です。

「しかし、神の賜物は、わたしたちの 主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」（ローマ 6：23b）

この一節が、先に悪い知らせ=罪の為の死の宣告と、良い知らせ=永遠の命の賜物を セットにしています。それが A です。次が B です。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。そして、ローマ人への手紙 10 章 9～10 節

「…心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

そして最後に C。大変シンプルです。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。あるいは、ローマ人への手紙 10 章 9～10 節にこうあります。

「口でイエスが主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から 復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ 10：9）

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」（ローマ 10：10）

そして、ローマ 10 章 13 節。決定打です。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』（ローマ 10：13）

救われるかもしれない、救われうる、救われるべき、、、ではなく、”救われる” のです。先週…ご起立ください。先週のことを最後に一つお伝えしたいと思います。私たちが愛情を込めて、十字架上の盗人と呼ぶ者について話しました。そして話して良かったと思います。なぜなら、これが救いの ABC について、幾つかの点を明確にすることができたからです。これは私たちがすべきことではありません。私たちにすべきことはありません。既に全てなされているからです。イエスが全てなさいました。これは、あなたが救われるために しなければならぬことではありません。よろしければ、、、ある話を思い出します。ふと思いついたので、、、これが最後の最後です「ある女性が、教会の会員になりたかったので、長老たちの所へ話に行きます。そして、”私は教会の一員になりたいのです” と言います。彼らは、こう言います。”いいでしょう。それでは 12 週間の聖書の学びをしなければなりません。”

”それが終了したら、また私たちのところへ戻ってきてください。その時話しましょう。”そこで、彼女は 12 週間の聖書の学びコースを完了し、長老たちのところへ戻ってきます。彼女は、”聖書の学びを終えました。会員になりたいです。”と言います。彼らは、”待ちなさい。次に必要なのは、、、”

そして、長老たちは、彼女が学ぶべき、教会についての 6 週間のコースを与えました。彼女は、”わかりました。”と この 6 週間のコースも完了します。そして、彼女は戻ってきて、”私は教会会員になりたい”と言います。長老たちは、”いや、次に必要なのは…”と、さらに彼女にやるべきことを与えました。彼女は押しつぶされ、落胆し、去っていきます。彼女は、公園のベンチに腰を下ろし、、、主を呼び求めます。”主よ、私はただ、あの教会の会員になりたただけなのです。”そ

して、イエスは、彼女を励まし仰います。” ああ、私の愛する子、私も、何年もあの教会に入ろうとしてきたんだよ。”

”でも入れなかったんだ。これを共有して良かったです。皆さん、要点は分かりますね？ ありのまま来てください。何もする必要はありません。十字架上の盗人も何もしなかったんです。彼はしたのは、聖霊の確信のあるところで自分が罪びとだと認め、こう言っただけです。

”彼（イエス）が救い主だ！”彼はそう信じました。もう一人の犯罪人は、イエスを拒絶しました。十字架上のもう一人の犯罪人、盗人はイエスを信じました。そして、彼はイエスを求め、呼び求めました。

「イエス様。あなたがの御国に入られるときには、私を思い出してください。」（ルカ 23:42）

そして、イエスは何と答えましたか？「早まるな。」「あなたは12週間のコースを受けなければならない。」「そんなに簡単なことではない。」「死に際にできているのか？」それは違います。

「イエスは彼に言われた。『まことに、あなたに言います。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。』」（ルカ 23:43）

それほどシンプルなのです。一拍手一 天のお父様、福音の簡潔さに感謝します。主よ、あなたの贈り物に感謝してもしきれません。あなたが全額支払って下さりました。あなたが代価を支払って下さったとき、私たちの代わりに、あなたがご自分の血を流すことで、私たちを贖い、買い戻してくださいました。主よ、“永遠の命”の贈り物に感謝します。主よ、祈ります。今日この教会におられる方、あるいはオンラインでご覧の方で、あなたを呼び求めたことがなく、あなたを信じたことがなく、あなたに頼ったことがなく、あなたを認識したことも、罪の赦しのためにあなたに信頼を置いたことがない方にとって、今日こそ、まだ時間のあるうちに、今日こそが、彼らの救いの日になるよう祈ります。そして最後に、主よ、マラナタ！早く来てください、主イエスよ。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7